

みずほCustomer Desk Report 2017/12/27号(As of 2017/12/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	113.40 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.31	1.1872	134.52	1.3375	0.7719
SYD-NY High	113.38	1.1878	134.56	1.3388	0.7730
SYD-NY Low	113.12	1.1847	134.22	1.3348	0.7712
NY 5:00 PM	113.23	1.1858	134.28	1.3375	0.7728
NY DOW	24,746.21	▲ 7.85	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,936.25	▲ 23.71	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,680.50	▲ 2.84	米国2年債	1.9012	0.85bp
日経平均	22,892.69	▲ 46.49	米国5年債	2.2416	▲ 0.83bp
TOPIX	1,827.01	▲ 4.92	米国10年債	2.4729	▲ 1.08bp
ソコ日経先物	22,915	40	独10年債	-	-
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	-	-	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.40	0.02%
上海総合	3,306.12	25.66	USDJPY 3M Vol	7.59	0.01%
NY金	1,287.50	8.70	USDJPY 6M Vol	8.08	0.05%
WTI	59.97	1.50	USDJPY 1M 25RR	-0.40	Yen Call Over
CRB指数	190.47	2.60	EURJPY 3M Vol	8.04	0.05%
ドルインデックス	93.28	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	8.30	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月26日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	11月 2.7%/1.56	2.8%/1.56
	8:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	11月 0.6%/0.9%/0.3%	0.5%/0.8%/0.3%
	8:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨「強力な金融緩和を粘り強く推進していくことが適切」		
	13:00	日 黒田日銀総裁 講演「日銀は2%の物価目標を目指して現在の金融緩和を粘り強く継続する」		
12月27日	0:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	12月 20	21
	0:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	12月 29.7	20.0

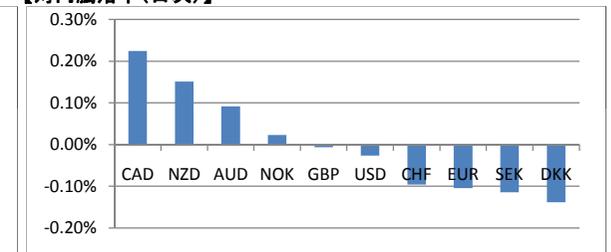
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月27日	14:00	日 住宅着工件数(前年比年率)	11月 -2.5%	-4.8%
12月28日	0:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	12月 128.0	129.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.10-50	1.1830-90	134.00-60

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場はクリスマス翌日で多くの市場が休場となり動意薄。ドル/円は113円台前半で推移した。本日も値動きの乏しい展開を予想する。米2年債利回りが高値水準をつけてはいるものの為替への影響は限定的であり、本日も閑散な相場であろう。地政学リスク等で突発的なイベントが生じた際には急落する展開もあろうが、下値は限定的か。

東京	東京時間オープン前に発表された本邦11月失業率は2.7%と予想(同2.8%)を下回って1993年11月以来の低水準となったほか、本邦11月コアCPIは前年比+0.9%と予想(同+0.8%)を上回る結果となった。また、日銀金融政策決定会合議事要旨(10/30-31会合分)が発表され、会合では大方の委員が「現在の金融市場調節方針のもと、強力な金融緩和を粘り強く推進していくことが適切で、現時点で追加緩和を行うべきではないとの認識を共有」していた。また、ある委員は「市場の一部において、日本銀行の金融政策も、米欧とともに「出口」に向かうべきとの声がかかるが、わが国の金融緩和の開始時期は米欧よりも遅いため、「出口」に向かう時期が遅くても不思議ではない」と発言していた。但し、失業率・CPI・日銀議事要旨のいずれもドル円相場への影響はほとんどなく、113.30レベルで東京時間オープン。公示仲値の発表時間を前に東京時間安値113.26をつけるも発表時間を過ぎると高値113.38まで上昇。午後には黒田日銀総裁から「世界経済は新たな成長局面に入ったが、日銀は2%の物価目標を目指して現在の金融緩和を粘り強く継続する」とコメントが出るも影響は限定的。113.30を挟んだ極めて狭い値幅でのレンジ推移となり、113.30レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は、年末を控えていることや欧州勢が休日となる中、狭いレンジ内での推移が続き113.30レベルでNYオープン。朝方発表された米10月リッチモンド連銀製造業指数は予想範囲内の結果となり市場の反応は限定的。その後は小幅高に寄り付いた米株が反落したことよりドル円は安値113.12まで下落。市場参加者が少ない中、短期的なサポートを下抜けることは無く、この水準では下げ渋った。昼過ぎに行われた米2年債の入札は若干弱含む結果となったものの、ドル円への影響は限定的となった。その後、「リビアで石油パイプラインが爆発、生産減少へ」とのヘッドラインが伝わりWTI原油が上昇したことや、米金利も動意薄となる中、ドル円は113.23レベルまで値を戻してクロスした。一方向ドルは1.1847レベルでNYオープン。1.18台半ばではユーロ買い意欲も強く、高値1.1878まで上昇。しかし海外時間高値1.1876が意識される中、上値を試す展開とはならず、その後は1.18台後半での推移が続き、1.1858レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高田・坂本